

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 201

事務事業名	総合相談支援事業及び権利擁護事業
-------	------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	山口 美帆	内線	89-204

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020203	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者を地域で支える体制の整備
関連施策		

会計	介護保険事業特別会計		
款	3	地域支援事業費	
項	3	包括的支援事業・任意事業費	
目	1	総合相談事業費	
事業コード	030000	総合相談事業	

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画	大村市高齢者保健福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 介護保険被保険者やその家族		
意図	対象をどのような状態にしたいか 地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするために、必要な支援を把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。さらに、虐待や消費者被害等、高齢者の権利侵害を防止し、高齢者が尊厳ある生活が維持できるように支援する。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域のネットワークを構築して高齢者の実態把握をし、相談を受け地域における保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる支援を行う。		
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	介護保険法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 相談件数	計画値	2,002	1,230	2,200	2,200		
		実績値	1,230	2,015	1,568			
		達成度	%	61.4%	163.8%	71.3%		
	② 相談件数	計画値	人	701	524	610	610	
		実績値		524	590	840		
		達成度	%	74.8%	112.6%	137.7%		
成果指標	① 問題改善率	計画値	%	98	98	98	98	
		実績値		99	99	99		
		達成度	%	101.0%	101.0%	101.0%		
	②	計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,558	3,196	4,208	8,961	9,956	9,956	9,956	0
国庫支出金	1,794	1,258	1,962	3,487	3,635	3,635	3,635	
県支出金	897	630	981	1,744	1,818	1,818	1,818	
地方債								
その他	953	910	1,178	19	17	17	17	
一般財源	914	398	3,030	3,711	4,486	4,486	4,486	
② 人件費(千円)	3,573	3,166	3,940	4,146	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.40	0.39	0.48	0.48				
時間外勤務(時間)	12	17	0	50				
嘱託等人数(人)	0.20	0.10	0.30	0.30				
フルコスト(①+②千円)	8,131	6,362	8,148	13,107				

*財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年4月より認知症総合相談センターを立ち上げ、一般市民が相談しやすい相談体制を整備した。前年度と比較して2倍以上の認知症の相談に対応している。
事業が抱える問題・課題等	独居高齢者や高齢者世帯が増加しており、認知症等のため、生活実態の把握が難しい事例や問題解決に向けたキーパーソンが不在の事例が増えている。今後も民生委員等地域住民や関係機関と連携し、必要な支援につなぐ体制整備が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		

介護保険料に基づく地域支援事業であり、適切な負担を行っている。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	初期相談より早期に介入することで、問題が深刻化する前に対処することが可能になることから、今後も民生委員等関係機関との連携強化を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	地域に潜在している支援が必要な高齢者に対し、早期に必要な支援につなぐことができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。